



# 三原市本郷人権文化センターだより

発行／三原市人権推進課  
編集／三原市本郷人権文化センター  
所在地／三原市本郷北3丁目16番10号  
電話／0848-86-3333  
FAX／0848-86-3407

## あけましておめでとうございます

みなさま、<sup>さちおほ</sup>幸多き<sup>しんしゅん</sup>新春をお迎<sup>むか</sup>えのこととお慶<sup>よろこ</sup>び申しあげます。また、<sup>へいそ</sup>平素から<sup>みはらしんけんぎょうせい</sup>三原市人権行政や<sup>じんけんぶんか</sup>人権文化センターの<sup>うんえい</sup>運営につきま<sup>りかい</sup>して、<sup>きょうりよく</sup>ご理解とご協<sup>きょうりよく</sup>力をいただき、<sup>こころ</sup>心からお礼<sup>れい</sup>を申しあげます。本年も<sup>ほんねん</sup>職員一同、<sup>しよくいんいちどう</sup>誠実な<sup>せいじつ</sup>運営に<sup>うんえい</sup>努めてまいります。よろしくお願<sup>ねが</sup>い致<sup>いた</sup>します。



## みんなで考える人権講座を開催しました（11/29）

【講座の要旨】・人権文化センターは、人権が<sup>そんちよう</sup>尊<sup>しやかい</sup>重<sup>じつげん</sup>される<sup>せっち</sup>社会の実現のため設置されている。



- ・<sup>けっこん</sup>結<sup>さい</sup>婚に際<sup>いえがら</sup>し家柄や<sup>しゅっしんち</sup>出身地を<sup>き</sup>気にする<sup>ひと</sup>人が今でも一定の割合で存在する。
- ・<sup>らくがき</sup>インターネットや<sup>ひぼう</sup>落書きなどでの<sup>のぞ</sup>誹謗・<sup>こじんじょうほう</sup>望んでいない個人<sup>りゅうしゅつ</sup>情報の流<sup>りゅうしゅつ</sup>出などが止まらない。放<sup>ほ</sup>っておいても<sup>さべつ</sup>差別は無<sup>な</sup>くならない。
- ・<sup>さべつ</sup>差別・<sup>へんけん</sup>偏見の<sup>こくふく</sup>克服には、<sup>ひとり</sup>一人<sup>しやかい</sup>ひとりが<sup>よ</sup>社会を<sup>じかく</sup>良<sup>たいせつ</sup>くしようと<sup>たいせつ</sup>する自覚が大切。

## グラウンドゴルフ大会が実施されました

11月24日、<sup>がつ</sup>ふれあ<sup>にち</sup>い交<sup>こうりゅうじぎょうじつこういんかい</sup>流<sup>しゅうへん</sup>事<sup>ちょうないかい</sup>業<sup>しゅうへん</sup>実<sup>しゅうへん</sup>行<sup>しゅうへん</sup>委<sup>しゅうへん</sup>員<sup>しゅうへん</sup>会<sup>しゅうへん</sup>（<sup>しゅうへん</sup>センター<sup>しゅうへん</sup>周<sup>しゅうへん</sup>辺<sup>しゅうへん</sup>5<sup>しゅうへん</sup>町<sup>しゅうへん</sup>内<sup>しゅうへん</sup>会<sup>しゅうへん</sup>）<sup>しゅうへん</sup>と<sup>しゅうへん</sup>関<sup>しゅうへん</sup>連<sup>しゅうへん</sup>団<sup>しゅうへん</sup>体<sup>しゅうへん</sup>）の<sup>しゅうへん</sup>主<sup>しゅうへん</sup>催<sup>しゅうへん</sup>で、<sup>しゅうへん</sup>地<sup>しゅうへん</sup>域<sup>しゅうへん</sup>の<sup>しゅうへん</sup>皆<sup>しゅうへん</sup>様<sup>しゅうへん</sup>の<sup>しゅうへん</sup>協<sup>しゅうへん</sup>力<sup>しゅうへん</sup>の<sup>しゅうへん</sup>も<sup>しゅうへん</sup>と<sup>しゅうへん</sup>グ<sup>しゅうへん</sup>ラ<sup>しゅうへん</sup>ウ<sup>しゅうへん</sup>ン<sup>しゅうへん</sup>ド<sup>しゅうへん</sup>ゴ<sup>しゅうへん</sup>ル<sup>しゅうへん</sup>フ<sup>しゅうへん</sup>大<sup>しゅうへん</sup>会<sup>しゅうへん</sup>が<sup>しゅうへん</sup>実<sup>しゅうへん</sup>施<sup>しゅうへん</sup>さ<sup>しゅうへん</sup>れ<sup>しゅうへん</sup>ま<sup>しゅうへん</sup>し<sup>しゅうへん</sup>た<sup>しゅうへん</sup>。



<sup>そうちよう</sup>早<sup>さむ</sup>朝<sup>みな</sup>は<sup>はし</sup>寒<sup>せすじ</sup>くても、<sup>か</sup>皆<sup>あし</sup>さん<sup>おおごえ</sup>プ<sup>おおわら</sup>レー<sup>さむ</sup>が<sup>さむ</sup>始<sup>さむ</sup>ま<sup>さむ</sup>ると<sup>さむ</sup>背<sup>さむ</sup>筋<sup>さむ</sup>が<sup>さむ</sup>伸<sup>さむ</sup>び、<sup>さむ</sup>駆<sup>さむ</sup>け<sup>さむ</sup>足<sup>さむ</sup>、<sup>さむ</sup>大<sup>さむ</sup>声<sup>さむ</sup>、<sup>さむ</sup>大<sup>さむ</sup>笑<sup>さむ</sup>いで<sup>さむ</sup>寒<sup>さむ</sup>さ<sup>さむ</sup>は<sup>さむ</sup>ど<sup>さむ</sup>こ<sup>さむ</sup>へ<sup>さむ</sup>や<sup>さむ</sup>ら。<sup>さむ</sup>次<sup>さむ</sup>回<sup>さむ</sup>は<sup>さむ</sup>ラ<sup>さむ</sup>ウ<sup>さむ</sup>ン<sup>さむ</sup>ド<sup>さむ</sup>数<sup>さむ</sup>を<sup>さむ</sup>増<sup>さむ</sup>や<sup>さむ</sup>し<sup>さむ</sup>て、<sup>さむ</sup>と<sup>さむ</sup>や<sup>さむ</sup>る<sup>さむ</sup>気<sup>さむ</sup>満<sup>さむ</sup>々<sup>さむ</sup>の<sup>さむ</sup>お<sup>さむ</sup>願<sup>さむ</sup>い<sup>さむ</sup>も<sup>さむ</sup>頂<sup>さむ</sup>き<sup>さむ</sup>ま<sup>さむ</sup>し<sup>さむ</sup>た。<sup>さむ</sup>次<sup>さむ</sup>回<sup>さむ</sup>は<sup>さむ</sup>初<sup>さむ</sup>め<sup>さむ</sup>て<sup>さむ</sup>の<sup>さむ</sup>方<sup>さむ</sup>も<sup>さむ</sup>ご<sup>さむ</sup>参<sup>さむ</sup>加<sup>さむ</sup>お<sup>さむ</sup>待<sup>さむ</sup>ち<sup>さむ</sup>し<sup>さむ</sup>て<sup>さむ</sup>い<sup>さむ</sup>ま<sup>さむ</sup>す♪



## たった一枚の申請用紙で大きな安心が手に入ります

不正な目的で他人の戸籍謄本等を取得し、時には転売されるという事件が起きており、「登録型本人通知制度」は知っているけれど「面倒だし、効果あるのかな？」と知っているあなた。この制度に登録した多くの方から「これだけ安心できるなら、もっと早く登録しておけばよかった」という体験談を伺っています。ぜひ、「登録型本人通知制度」にご登録ください。



市HP 登録方法などはこちら

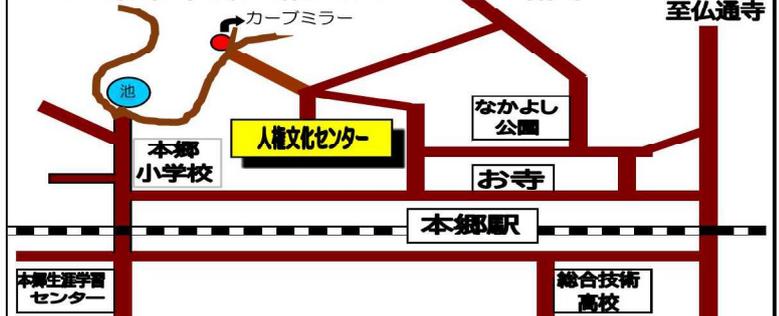
### 人権相談

人権侵害や差別などでお悩みの方は、人権相談員にご相談ください。相談は無料で秘密は守られます。気軽に相談してください。



- と き 土・日・祝日は除く 10時～16時
- と ころ 三原市本郷人権文化センター
- 電 話 0848-86-3333

### 三原市本郷人権文化センター略図



本郷小学校北の丘に緑の屋根の建物があります  
道が入り組んで屋根も見えづらいので気をつけてお越しください 至国道2号

# 人権のひろば



「私らしく暮らせるみはらプラン」～個性と能力が発揮できる社会をめざして～  
(第4次三原市男女共同参画プラン) 令和4(2022)年3月施行について紹介していきます。

【第7回】

## 「三原市の男女共同参画をめぐる現状」

### (1)人口・産業

本市の総人口は、昭和60(1985)年をピークに減少の一途をたどっています。

令和42(2060)年では53,185人と予測され、増加傾向にある老年人口を支えていく生産年齢人口の割合が減少していく見込みです。

産業分野では、医療・福祉、社会保険・社会福祉・介護事業の従事者が多く、地域経済を支える基盤産業は、輸送用機械器具製造業や農業の割合が高いです。

### (2)就業状況等

女性の就業率は、男性に比べ10～20ポイント低い値で推移していますが、結婚・出産期にあたる30代には一旦減少し、育児が落ち着いた頃に再び上昇する「M字カーブ」が緩やかになる傾向であり、共働きを含め働く女性が多いことがうかがえます。また、45歳から49歳代を境に既婚の就業率が未婚を上回り、50歳～54歳がピークとなっています。

市内事業所等に実施した職場環境調査(2020年)では、女性管理職の割合は10.6%で、広島県平均(部長・課長級)の16.0%を下回っています。また、

審議会等における女性委員の割合は、2021年では28.7%、本市の職員における対象女性管理職の比率は9.5%と低い値で推移しています。

政府は、社会のあらゆる分野において、指導的地位に女性が占める割合を「30%」目標と制定し、推進しています。



市HP二次元コード

## ★きょうは何の日? 1月 人権カレンダー

### 防災とボランティアの日(阪神・淡路大震災:17日)

1月17日は「防災とボランティアの日」です。1995年(平成7年1月17日)に発生した阪神・淡路大震災をきっかけに、災害への備えとボランティア活動の大切さを認識する日として日本の記念日に制定されました。

また、防災とボランティア週間(1月15日～21日)が創設されています。

昨今も全国各地で地震や風水害などの自然災害が数多く発生し、甚大な被害をもたらしています。

災害ボランティアによる復旧・復興支援、生活再建支援等の活動は、被災地の復興を早める等、大きな役割を果たしています。自然災害は予測が難しく、いつどこで発生するかわかりません。そのため、日頃から防災意識をもつことが大切です。

